第９章　土壌

第 9 章　土壌

9-1 既存資料調査結果

1 土壌の状況

「24 杉戸-7 号 杉戸屏風深輪地区産業団地環境調査業務 報告書」（平成 26 年 3 月、玉野総合コンサルタント株式会社）では、土壌の汚染に係る現地調査を実施するにあたり、次の既存調査資料について調査内容及び調査結果の確認を行っている。

・［既存資料］

「平成 22 年度 地質調査業務委託（杉戸町屏風・深輪地区）試掘調査報告書」

（平成 23 年 3 月、株式会社ゼネラルボーリング）

既存資料では、計画地の南区域に位置する盛土地で、地目が「雑種地」となっている 3 箇所において、有害物質の溶出試験が実施されている。分析結果は、資料表 9-1 に示すとおり、いずれも環境基準を満たしており、汚染状況は見られなかった。

現地調査は、この結果を踏まえ、調査地点の位置選定を行っている。

2)土壌環境測定分析（溶出試験）結果

次ページの調査位置図に示す試掘調査Ｆ・Ｇ・Ｈの地点にて掘削機械（バックホウ）を用いての掘削で採取した試料を対象に、土壌環境測定分析（溶出試験）を行った。

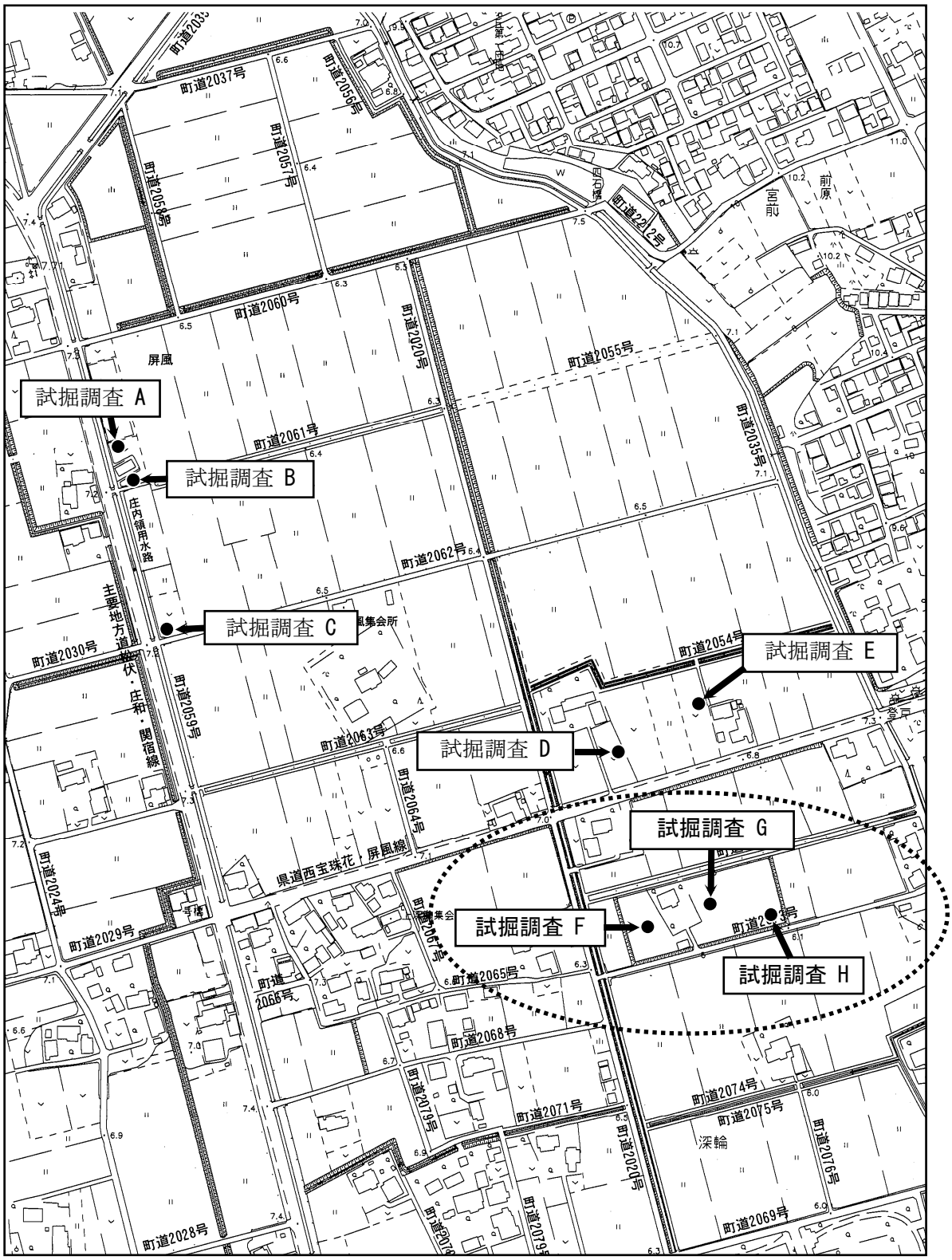
その溶出試験結果は、資料表 9-1 に示すとおりであり、各項目とも定量下限値以下であり、基準値を下回ることが確認されている。

資料表 9-1　地質分析（溶出試験）結果

溶出試験項目	単位	試掘H	判定	試掘G	判定	試掘F	判定	基準値
カドミウム	mg/L	0.001 未満	○	0.001 未満	○	0.001 未満	○	0.01 以下
全シアン	mg/L	不検出	○	不検出	○	不検出	○	不検出
有機燐	mg/L	不検出	○	不検出	○	不検出	○	不検出
鉛	mg/L	0.005	○	0.005 未満	○	0.005 未満	○	0.01 以下
六価クロム	mg/L	0.02 未満	○	0.02 未満	○	0.02 未満	○	0.05 以下
砒素	mg/L	0.007	○	0.002	○	0.002	○	0.01 以下
総水銀	mg/L	0.0005 未満	○	0.0005 未満	○	0.0005 未満	○	0.0005 以下
アルキル水銀	mg/L	不検出	○	不検出	○	不検出	○	不検出
ＰＣＢ	mg/L	不検出	○	不検出	○	不検出	○	不検出
ジクロロメタン	mg/L	0.002 未満	○	0.002 未満	○	0.002 未満	○	0.02 以下
四塩化炭素	mg/L	0.0002 未満	○	0.0002 未満	○	0.0002 未満	○	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.0004 未満	○	0.0004 未満	○	0.0004 未満	○	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.002 未満	○	0.002 未満	○	0.002 未満	○	0.02 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.001 未満	○	0.001 未満	○	0.001 未満	○	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.001 未満	○	0.001 未満	○	0.001 未満	○	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.0006 未満	○	0.0006 未満	○	0.0006 未満	○	0.006 以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.001 未満	○	0.001 未満	○	0.001 未満	○	0.03 以下
テトラクロロエチレン	mg/L	0.001 未満	○	0.001 未満	○	0.001 未満	○	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.0002 未満	○	0.0002 未満	○	0.0002 未満	○	0.002 以下
チウラム	mg/L	0.0006 未満	○	0.0006 未満	○	0.0006 未満	○	0.006 以下
シマジン	mg/L	0.0003 未満	○	0.0003 未満	○	0.0003 未満	○	0.003 以下
チオベンカルブ	mg/L	0.002 未満	○	0.002 未満	○	0.002 未満	○	0.02 以下
ベンゼン	mg/L	0.001 未満	○	0.001 未満	○	0.001 未満	○	0.01 以下
セレン	mg/L	0.002 未満	○	0.002 未満	○	0.002 未満	○	0.01 以下
ふっ素	mg/L	0.5	○	0.2	○	0.5	○	0.8 以下
ほう素	mg/L	0.1 未満	○	0.1 未満	○	0.1	○	1 以下

3)土壌汚染（試掘）調査の位置

試掘調査位置は下図の３箇所（地点Ｆ～Ｈ）とした。

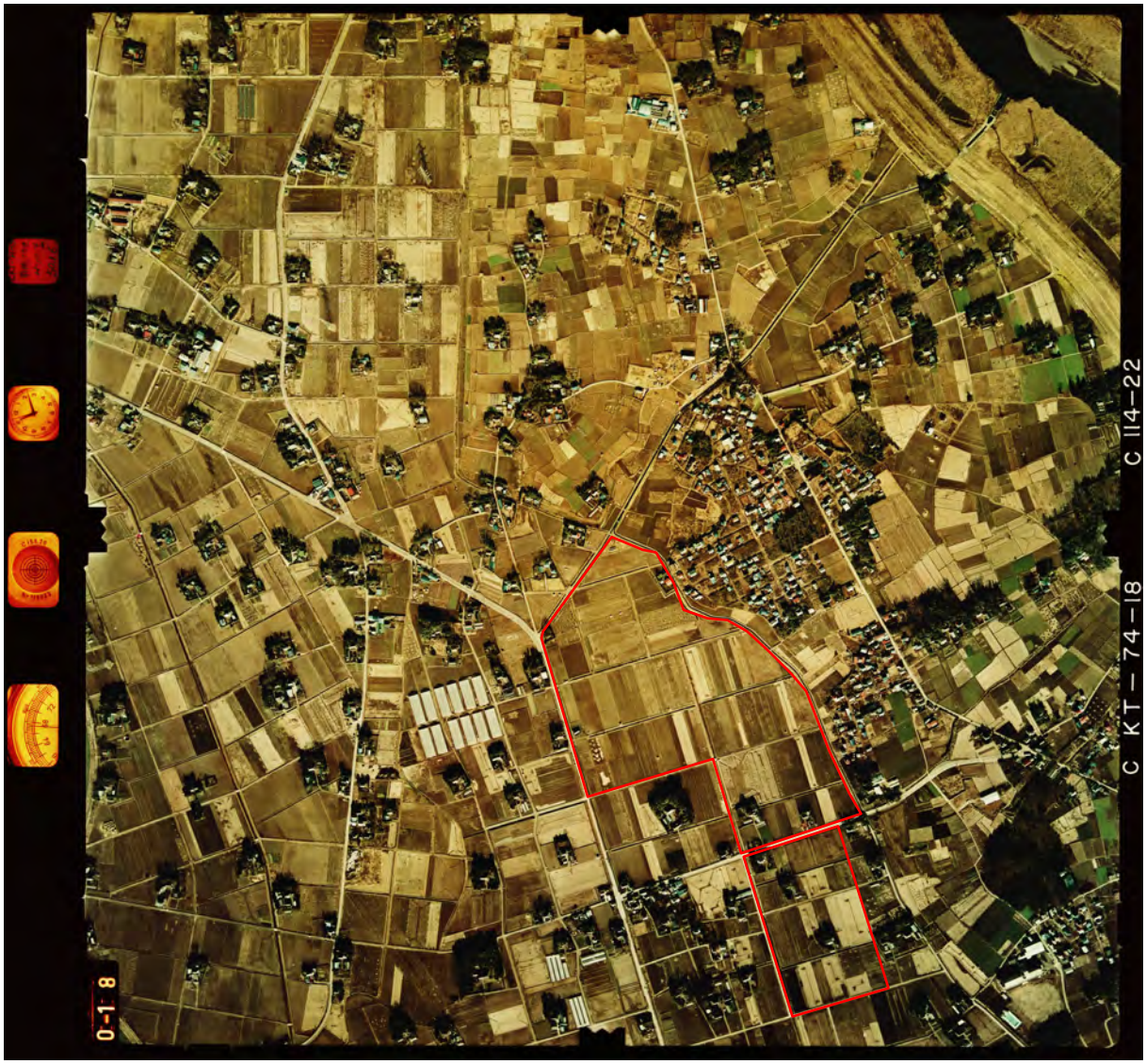


9-2 地歴調査資料

計画地の地歴調査については、「24 杉戸-7 号 杉戸屏風深輪地区産業団地環境調査業務 報告書」（平成 26 年 3 月、玉野総合コンサルタント株式会社）において整理されている。

土壌汚染のおそれの有無の確認調査として、計画地周辺の昭和 49 年度（1974 年度）及び昭和 59 年度（1984 年度）に撮影された空中写真を入手し、地歴の確認を行っており、写真から判別できる土地利用状況及び建物の立地状況は、昭和 47 年当時から現在まで大きな変化はみられず、有害物資の保存、製造等土壌汚染のおそれのある施設や土地利用はなかったと判断できるとされている。

［昭和 49 年度撮影写真］



資料：「国土画像情報（カラー空中写真）国土交通省」
（国土情報ウェブマッピングシステム（http://w3land.mlit.go.jp/WebGIS/index.html））
注）上記の「国土画像情報（カラー空中写真）」の公開は、平成 26 年 3 月末で閲覧を終了。

［昭和 59 年度撮影写真］

資料：「国土画像情報（カラー空中写真）国土交通省」
（国土情報ウェブマッピングシステム（http://w3land.mlit.go.jp/WebGIS/index.html））
注）上記の「国土画像情報（カラー空中写真）」の公開は、平成 26 年 3 月末で閲覧を終了。